新冠町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

新冠町は北海道の南部、太平洋に面する日高地方のほぼ中央位置し、総面積は585.81平方キロメートル、総人口は平成27年時点で5,592人と推移している。

新冠町の高齢化率は全国、全道の平均を大きく上回っており、自家用車での移動が困難である高齢者に対して移動手段を確保・維持していく必要がある。当町は効率的で利便性の高い公共交通の確立を目指し、平成21年度に「新冠町地域公共交通総合計画」を策定した。この計画に基づき、道南バス泉線を廃止し、平成27年度から町有バスを活用しながら地域間幹線系統バス（道南バス㈱「日高沿岸線」）との接続に配慮した新冠町コミュニティバス『メロディー号』の運行を開始した。今後は、安全を最優先とし、可能な範囲でニーズに対応した路線及びダイヤを検討しながら、利便性の向上を目指す。

生活交通確保維持改善計画の目標

【目標】高齢者に配慮した利用しやすい運行体制の整備
・1日平均利用者数9.4人以上
【車両減価償却費等国庫補助金】 ・運行補助と同じ。

地域公共交通の現況

・道南バス㈱「日高沿岸線」
・スクールバス町内7路線

協議会開催状況

H30.1.23	H29地域内フィーダー系統維持計画事業評価
H30.3.23	自家用有償旅客運送者登録変更
H30.6.25	H31地域内フィーダー系統維持計画承認
H31.1.22	H30地域内フィーダー系統維持計画事業評価 自家用有償旅客運送者登録変更
R1.6.24	R2地域内フィーダー系統維持計画承認
R2.1.22	H31地域内フィーダー系統維持計画事業評価
R2.3.13	自家用有償旅客運送者登録変更
R2.6.24	R3地域内フィーダー系統維持計画承認
R2.11.20	自家用有償旅客運送者登録変更
R3.1.29	R2地域内フィーダー系統維持計画事業評価
R3.6.28	R4地域内フィーダー系統維持計画承認
R4.1.11	R3地域内フィーダー系統維持計画事業評価

令和３年度事業概要

【定時定路線】一律200円（小人・障がい者半額）
①新和太陽古岸線（農協スタンド横→新和土井宅前→新冠温泉） ～ 2便/日（循環） 月・火・木・土運行 103.1km
②美宇東川線（農協スタンド横→美宇早川宅前→新冠温泉） ～ 2便/日（循環） 火・水・木・金運行 74.0km
③若園大富線（農協スタンド横→若園滑若橋前→新冠温泉） ～ 2便/日（循環） 月・水・金・土運行 64.6km

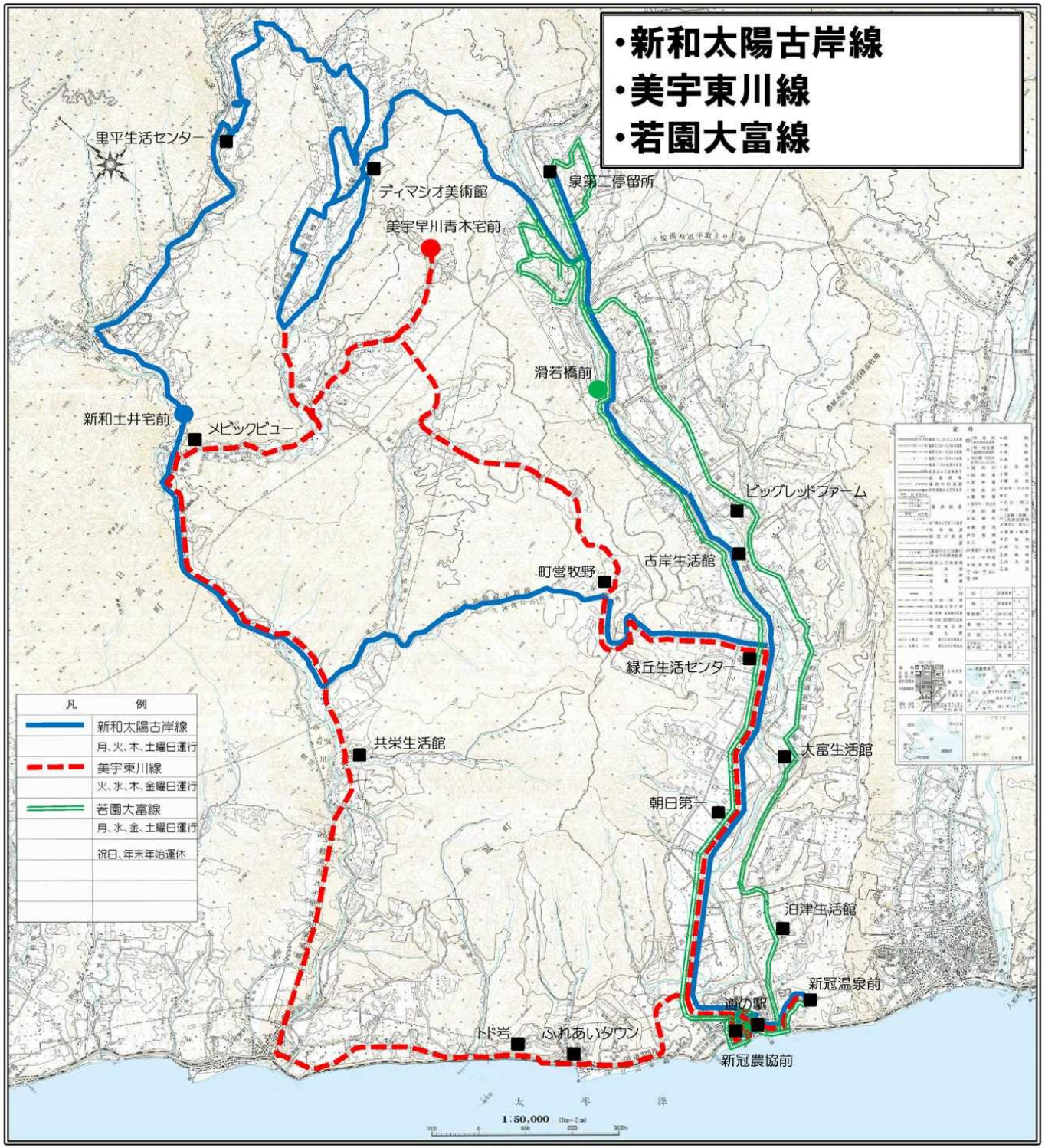
令和３年度事業の実施状況

１）プロセス、創意工夫

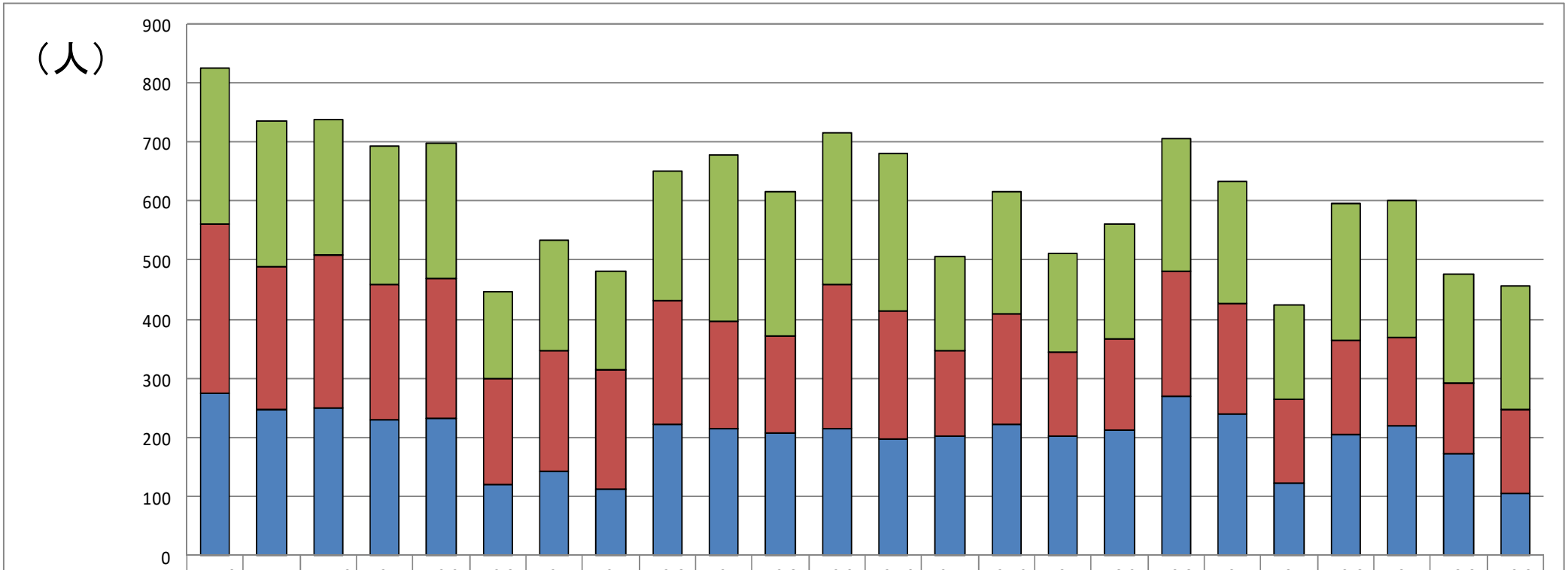
①他部署との情報共有～必要に応じてバス利用者の健康状態や生活状態等について確認し情報共有を図った。
②委託業者との連携～バス利用者の利用状況について確認し情報共有を図るとともに安全運行のための調整を図った。
③時刻表の周知～時刻表の全世帯向け配布を実施した。（希望があれば個別時刻表の作成可能）
④各種助成券の周知～各種助成券の交付について周知を図った。
⑤他の公共交通との接続～他の公共交通との接続について問合せがあった際に説明を実施した。

２）運行系統

別紙路線図参照


・新和太陽古岸線
・美宇東川線
・若園大富線
里平生活センター
ディマシオ美術館
美宇早川青木宅前
泉第二停留所
滑若橋前
新和土井宅前
メビックビュー
ビッグレッドファーム
古岸生活館
町営牧野
緑丘生活センター
共栄生活館
太富生活館
朝日第一
汨津生活館
新冠温泉前
道の駅
新冠農協前
ふれあいタウン
トド岩
凡例
新和太陽古岸線
月、火、木、土曜日運行
美宇東川線
火、水、木、金曜日運行
若園大富線
月、水、金、土曜日運行
祝日、年末年始運休
太平洋
1:50,000

３）利用実績

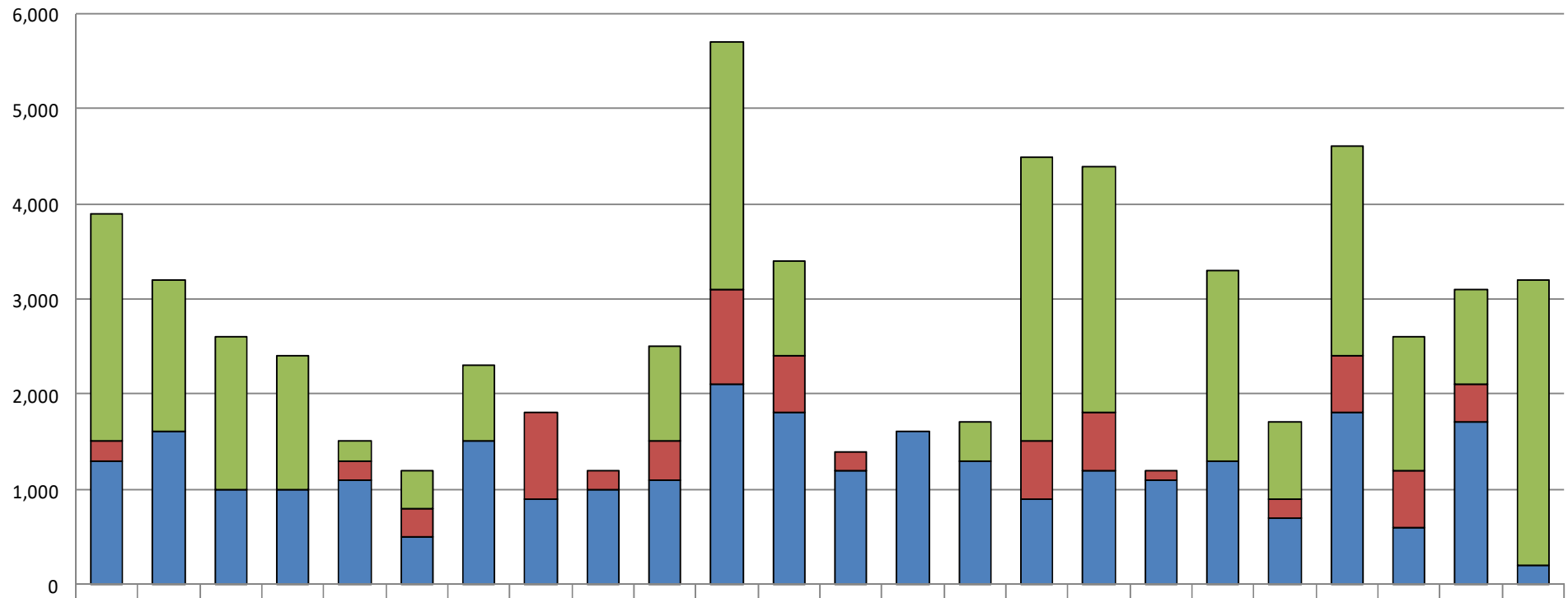


	R1.10	R1.11	R.1.12	R2.1	R.2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9
若園大富線	264	247	230	233	231	148	187	166	218	283	244	257	267	159	209	166	194	223	207	160	231	232	184	208
美宇東川線	289	242	259	230	237	180	203	202	210	182	166	244	217	145	187	143	154	213	187	141	161	150	118	144
新和太陽古岸線	273	247	250	229	231	119	143	113	222	214	206	215	197	202	221	201	212	269	240	123	204	219	173	104

【R1.10～R2.9 利用者合計】
新和太陽古岸線　～　2,462人
美宇東川線　～　2,644人
若園大富線　～　2,708人
合計　～　7,814人

【R2.10～R3.9 利用者合計】
新和太陽古岸線　～　2,365人
美宇東川線　～　1,960人
若園大富線　～　2,440人
合計　～　6,765人

４）収入実績



	R1.10	R1.11	R.1.12	R2.1	R.2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9
若園大富線	2,400	1,600	1,600	1,400	200	400	800	0	0	1,000	2,600	1,000	0	0	400	3,000	2,600	0	2,000	800	2,200	1,400	1,000	3,000
美宇東川線	200	0	0	0	200	300	0	900	200	400	1,000	600	200	0	0	600	600	100	0	200	600	600	400	0
新和太陽古岸線	1,300	1,600	1,000	1,000	1,100	500	1,500	900	1,000	1,100	2,100	1,800	1,200	1,600	1,300	900	1,200	1,100	1,300	700	1,800	600	1,700	200

【R1.10～R2.9 収入合計】
新和太陽古岸線　～　14,900円
美宇東川線　　～　 3,800円
若園大富線　　～　13,000円
合計　　～　31,700円

【R2.10～R3.9 収入合計】
新和太陽古岸線　～　13,600円
美宇東川線　　～　 3,300円
若園大富線　　～　16,400円
合計　　～　33,300円

5）事業実施の適切性

・計画の位置付け通り本事業は適切に実施された。

6）目標・効果達成状況

・1日平均利用者9.4人の維持という目標に対し、1日平均利用者数10.9人（6,765人/車両2台/310日）の実績となった。

・山間地域に居住する町民について一定の利用があることから、高齢者の外出機会の創出につながっている。

【車両減価償却費】

・目標は運行補助と同じ。

※車両の小型化により、幹線道路以外の道路にも乗入が可能となり、自宅付近からの乗降ができるため、利用者の維持につながっている。

7）事業の今後の改善点

・目標の1日平均利用者数9.4人維持は達成され、利用者数は維持している。

・現状で利用している町民が、今後も安心して利用し続けてもらえるよう、可能な範囲で細かいサービスを実施していく必要がある。（時刻表の個別作成、郵送によるバス券交付、他の交通機関への接続方法周知等）

8）地方運輸局における二次評価結果

（令和4年度分と併せて評価）